



日本リユースシステム

七尾市で被災地支援

【石川】日本リユースシステム(山田正人社長、東京都港区)が展開する「古着d eワクチン」。不要になった衣類や服飾雑貨を有料の専用回収キットに詰めて同社へ送付することで、世界の子どもたちにも届ける「古着d eワクチン」を寄付できる画期的な仕組みだ。送付された衣類



提供写真被災地支援
尾市の就労継続支援B型事業所「えもる」と組み、4月から「古着d eワクチン復旧・復興応援」

は、カンボジアをはじめとする開発途上国を中心に輸出・再利用(リユース)され、現地の雇用やビジネス創出にも寄与。同取り組みを利用すると、「世界の子どもたちにも届ける」

クチンが届けられ、一口につき5人の命が救われる。同社は能登半島地震で被災した石川県七尾市の就労継続支援B型事業所「えもる」と組み、4月から「古着d eワクチン復旧・復興応援」

専用回収キットは「日本全国の福祉作業所で製造し、障がいがある人の自立支援に寄与している。同社は能登半島地震で被災した石川県七尾市の就労継続支援B型事業所「えもる」と組み、4月から「古着d eワクチン復旧・復興応援」

「えもる」と組み、4月から「古着d eワクチン復旧・復興応援」

「えもる」と組み、4月から「古着d eワクチン復旧・復興応援」

「えもる」と組み、4月から「古着d eワクチン復旧・復興応援」

【支援活動の流れ】

